

## 第42回 景気動向レポート

2022年4～6月期

### ○概要

調査時期 令和4年6月上旬  
 調査地域 平塚市、厚木市、相模原市、大和市、  
 伊勢原市、秦野市、座間市、  
 海老名市、茅ヶ崎市、高座郡、愛甲郡

全調査先 当金庫取引先 319先  
 回答先数 当金庫取引先 318先  
 (内訳) 製造業：63先  
 卸売業：19先  
 小売業：47先  
 サービス業：75先  
 建設業：84先  
 不動産業：30先

回答率 99.7%

### ○調査方法

当金庫職員による面接聞き取り方式、または、  
 調査先による直接記入・回収方式

### ○分析方法

DI (Diffusion Index)

DIとは、各質問項目に対して「良い(増加・上昇)」  
 と回答された企業の割合から「悪い(減少・下降)」  
 と回答された企業の割合を差引いて算出した指標です。

DIがプラスであれば上向き、0であれば現状維持、  
 マイナスであれば下向きというように判断できます。

### 業況DIの推移 (業種別DI天気図)

	2021年 4-6月期	2021年 7-9月期	2021年 10-12月期	2022年 1-3月期 (前期)	2022年 4-6月期 (当期)	2022年 7-9月期 (予想)
製造業	↗ ☁	↗ ☁	↗ ☁	⇒ ☁	↘ ☁	↘ ☁
卸売業	↗ ☂	↗ ☂	↗ ⬆	↘ ☂	↗ ⬆	↗ ☁
小売業	↗ ☁	↘ ⬆	↗ ☁	↘ ☂	↗ ⬆	↘ ☂
サービス業	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁
建設業	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↘ ☁	↘ ☁	↗ ☁
不動産業	↘ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ⬆	↗ ☁	↘ ☁
全業種	↗ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁



# 全業種

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に改善の見込み

2022年4～6月期の当金庫営業地区内における業況DIは、対前期比+6.5ポイントの▲7.9と改善。卸売業・小売業・サービス業・不動産業で改善、製造業・建設業で悪化となりました。

売上DIについては、対前期比+7.6ポイントの▲1.2となり、収益DIは対前期比+4.3ポイントの▲12.6となりました。

その他のDIでは、販売・料金・請負価格DIは対前期比+4.2ポイントの13.8となり4期連続の上昇、仕入・原材料・材料価格DIは対前期比+17.2ポイントの67.4となり8期連続の上昇、資金繰りDIは対前期比+0.7ポイントの▲6.0となりました。人手DIについては対前期比▲3.2ポイントの▲28.3となりました。

来期（2022年7～9月期）の業況予想では、卸売業・建設業で改善、製造業・小売業・サービス業・不動産業で悪化を予想しており、全業種総合業況DIは、対当期比+0.6ポイントの▲7.3と改善を見込んでいます。

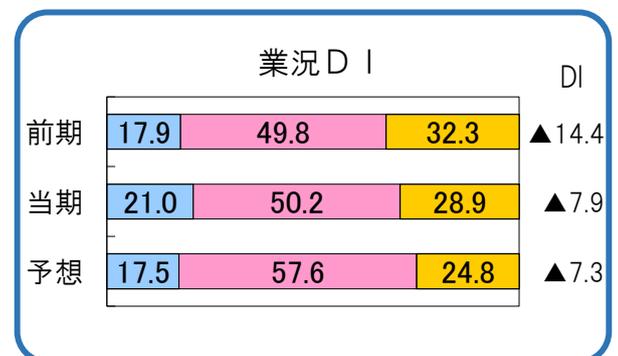
## 主要D I 構成



### ○業況D I



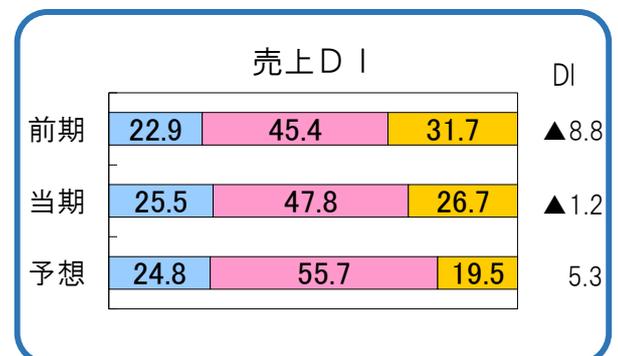
業況DIは、対前期比+6.5ポイントの▲7.9(前年同期▲13.9・前回予想との差+5.6)となりました。卸売業・小売業・サービス業・不動産業は改善、製造業・建設業で悪化となり、業況DIは改善となりました。今後の業況DIは、対当期比+0.6ポイントの▲7.3と改善を見込んでいます。



### ○売上D I



売上DIは、対前期比+7.6ポイントの▲1.2（前年同期▲7.6・前回予想との差▲1.2）となりました。卸売業・小売業・サービス業は改善、製造業・建設業・不動産業で悪化となり、売上DIは改善となりました。今後の売上DIは、対当期比+6.5ポイントの5.3と改善を見込んでいます。



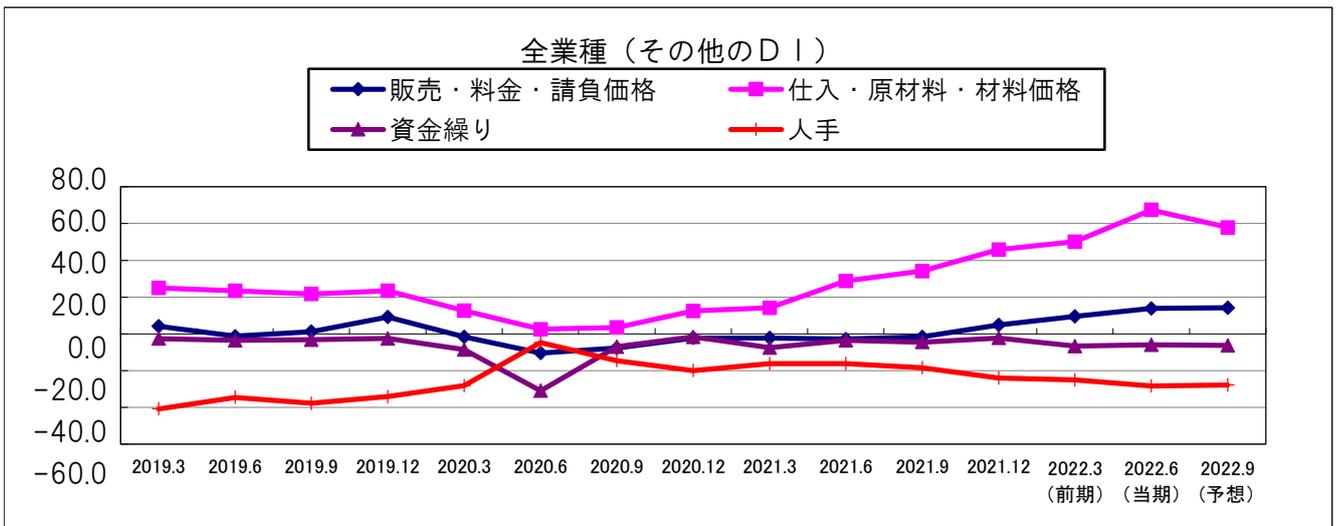
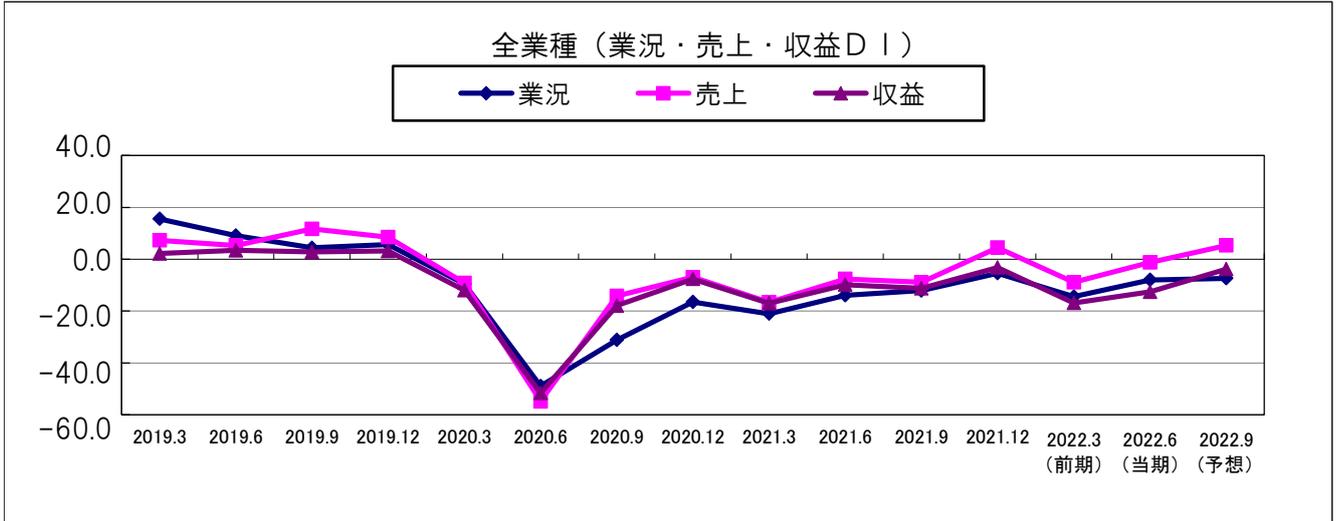
### ○収益D I



収益DIは、対前期比+4.3ポイントの▲12.6(前年同期▲9.8・前回予想との差▲7.2) となりました。卸売業・小売業・サービス業・不動産業は改善、製造業・建設業で悪化となり、収益DIは改善となりました。今後の収益DIは、対当期比+8.9ポイントの▲3.7と改善を見込んでいます。



DIの推移



経営サポートセンターNEWS

経営者・創業希望者の皆様へ  
課題解決のサポートをさせていただきます！！



◎課題解決に関するお問い合わせは

〒254-0043 平塚市紅谷町11-19  
平塚信用金庫 営業統括部 経営サポートセンター  
TEL: 0463-24-3031

◎主なサポートメニュー

- 創業支援
- 販路拡大
- M & A
- 事業承継
- ICT
- 補助金等

TRInk Hiratsuka  
平塚信用金庫  
<http://www.shinkin.co.jp/hiratsuka/>



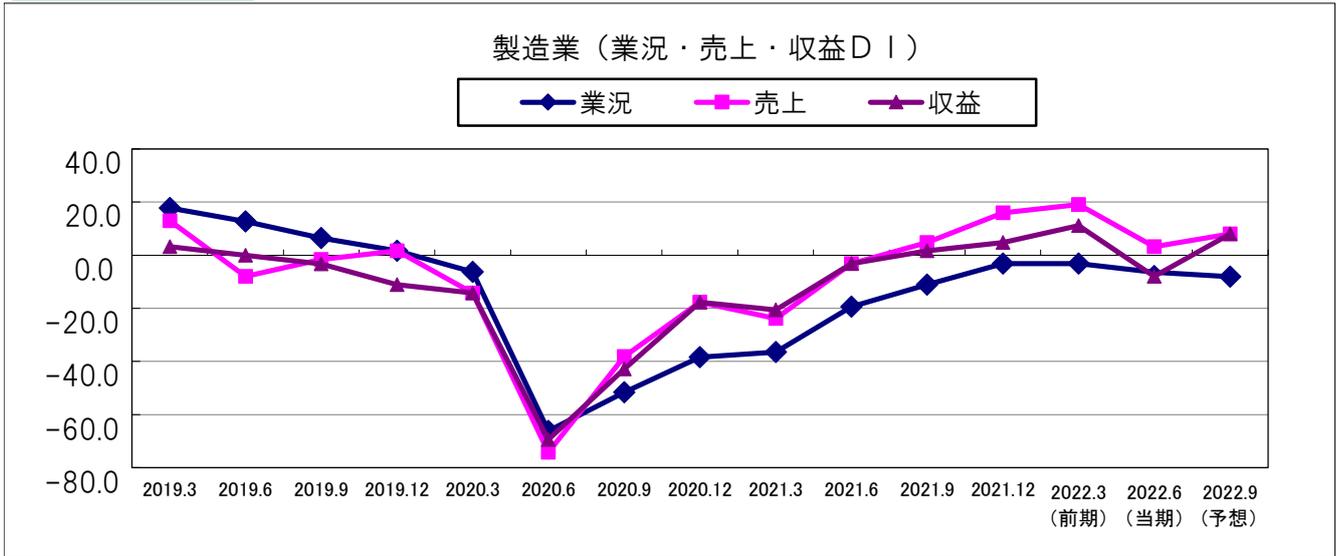
経営サポートセンターでは、  
多くの専門家や外部機関と連  
携して、お客さまの課題解決  
に取り組んでいます。  
お困りごとは、是非ひらしん  
まで。お客さまと共に課題解  
決のサポートをさせていただきます！

# 製造業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：売上・収益D I は改善、業況D I は悪化の見込み

## 主要D I 推移



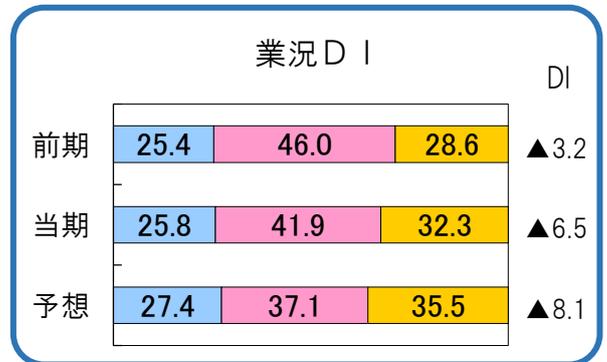
## 主要D I 構成



### ○業況D I



業況D Iは、対前期比▲3.3ポイントの▲6.5(前年同期▲19.4・前回予想との差▲3.3)の悪化となりました。今後の業況D Iについては、対当期比▲1.6ポイントの▲8.1と悪化を見込んでいます。



### ○売上D I



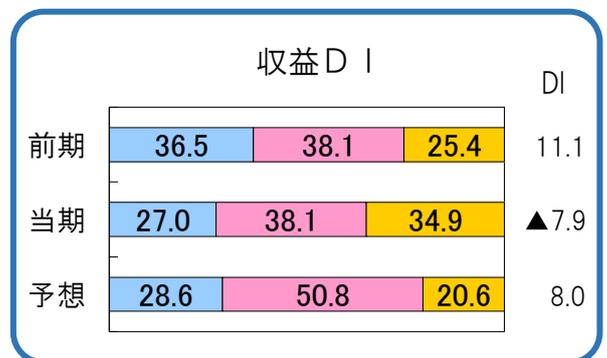
売上D Iは、対前期比▲16.0ポイントの3.1(前年同期▲3.2・前回予想との差▲14.3)と5期ぶりの悪化となりました。今後の売上D Iについては、対当期比+4.9ポイントの8.0と改善を見込んでいます。



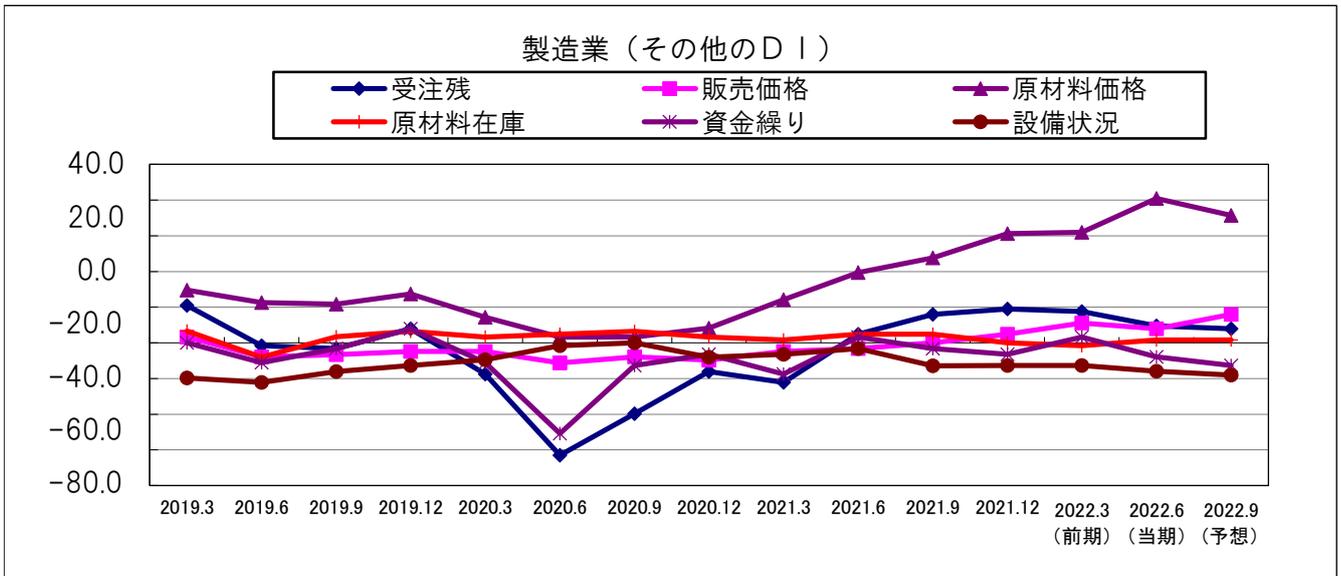
### ○収益D I



収益D Iは、対前期比▲19.0ポイントの▲7.9(前年同期▲3.2・前回予想との差▲17.4)と5期ぶりの悪化となりました。今後の収益D Iについては、対当期比+15.9ポイントの8.0と大幅な改善を見込んでいます。



その他のD | 推移

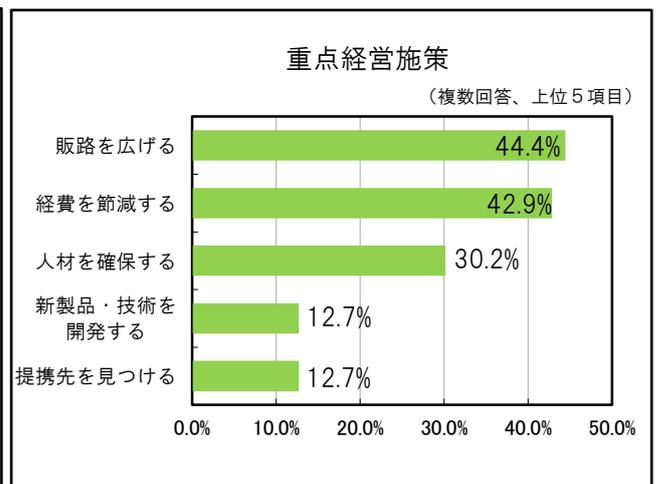
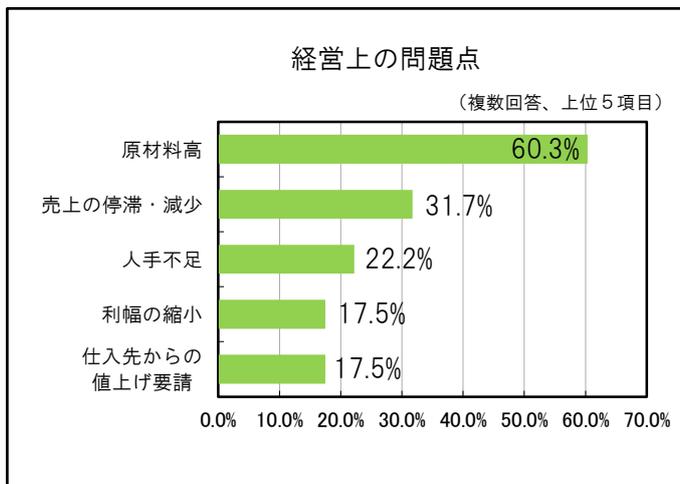


○その他のD |

対前期比でみると、受注残DIは▲8.0ポイントの9.5、販売価格DIは▲3.2ポイントの7.9、原材料価格DIは+19.1ポイントの81.0、原材料在庫DIは+3.2ポイントの1.6、資金繰りDIは▲11.1ポイントの▲7.9、設備状況DIは▲3.2ポイントの▲15.9となりました。

今後は、販売価格DIは上昇、原材料在庫DIは横這い、受注残DI・原材料価格DI・資金繰りDI・設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「原材料高」が60.3%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」が31.7%、「人手不足」22.2%、「利幅の縮小」「仕入先からの値上げ要請」が共に17.5%となりました。

【重点施策】

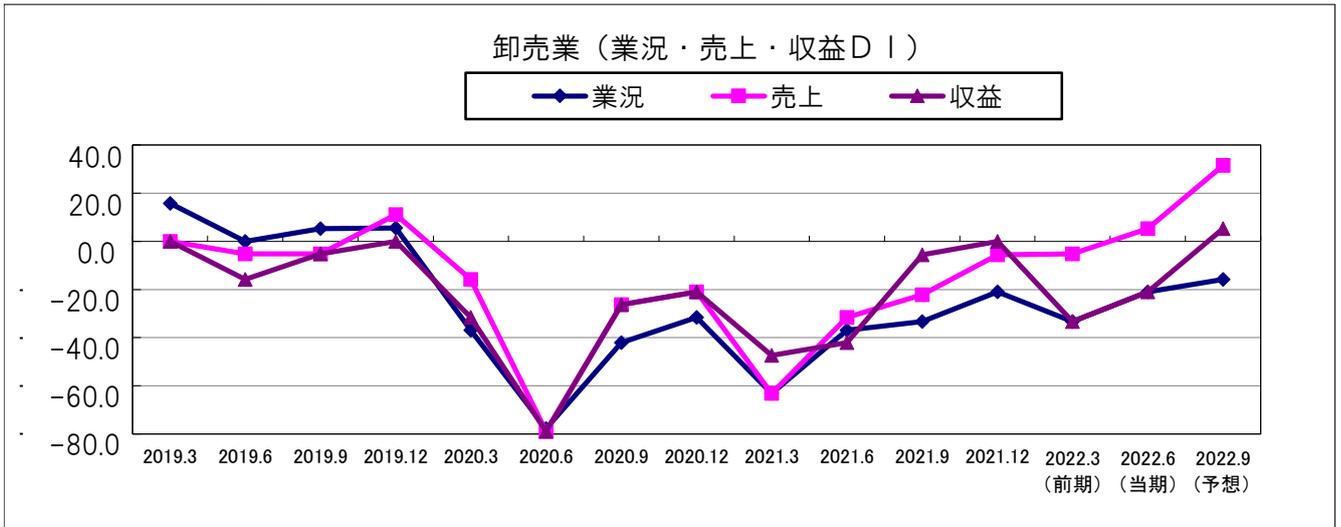
当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が44.4%と最も多く、次いで「経費を節減する」42.9%、「人材を確保する」30.2%、「新製品・技術を開発する」「提携先を見つける」が共に12.7%となりました。

# 卸売業

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に改善の見込み

## 主要D I 推移

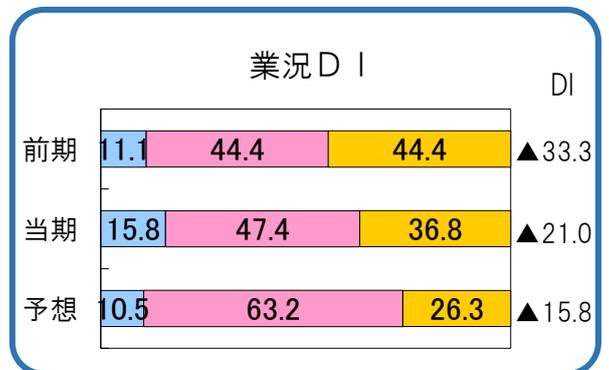


## 主要D I 構成

### ○業況D I



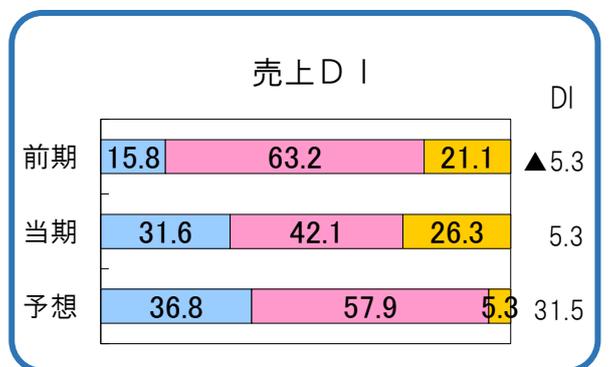
業況DIは、対前期比+12.3ポイントの▲21.0(前年同期▲36.8・前回予想との差▲4.3)と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比+5.2ポイントの▲15.8と改善を見込んでいます



### ○売上D I



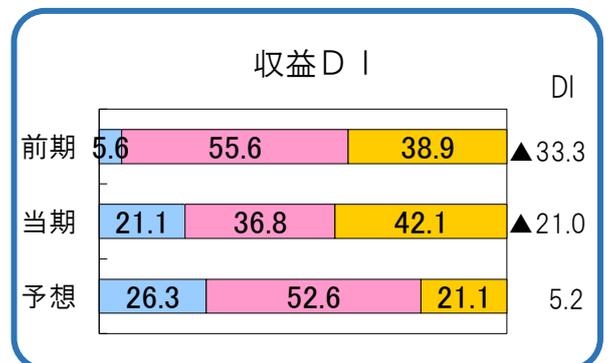
売上DIは、対前期比+10.6ポイントの5.3(前年同期▲31.6・前回予想との差±0.0)と5期連続の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比+26.2ポイントの31.5と大幅な改善を見込んでいます。



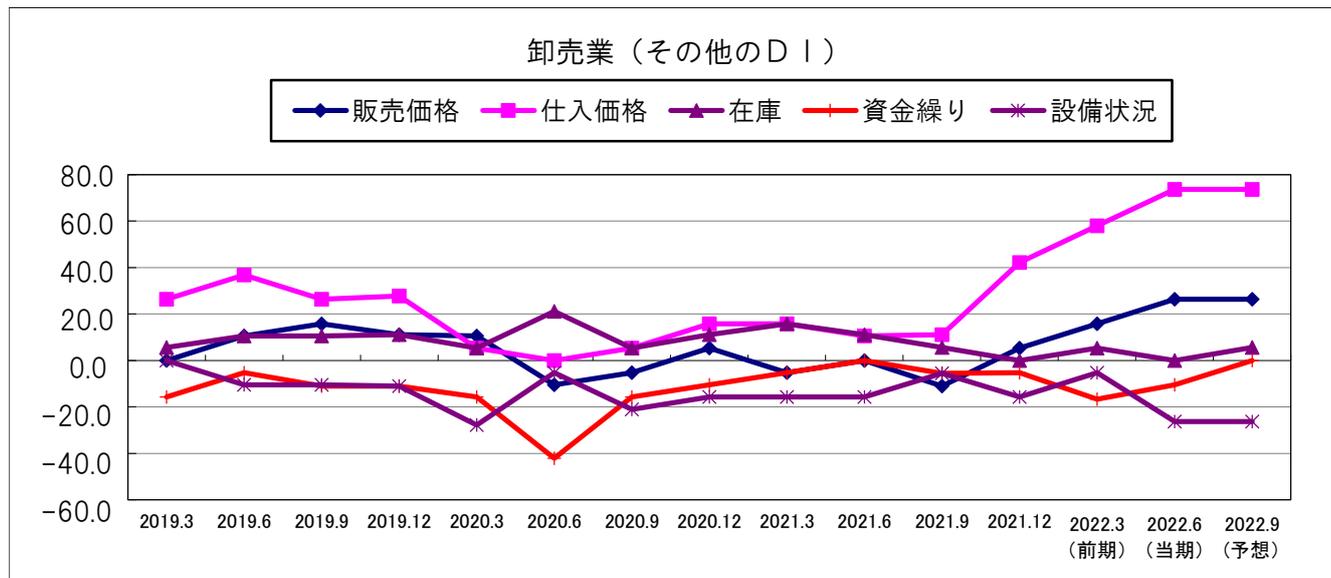
### ○収益D I



収益DIは、対前期比+12.3ポイントの▲21.0(前年同期▲42.1・前回予想との差▲10.4)と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比+26.2ポイントの5.2と大幅な改善を見込んでいます。



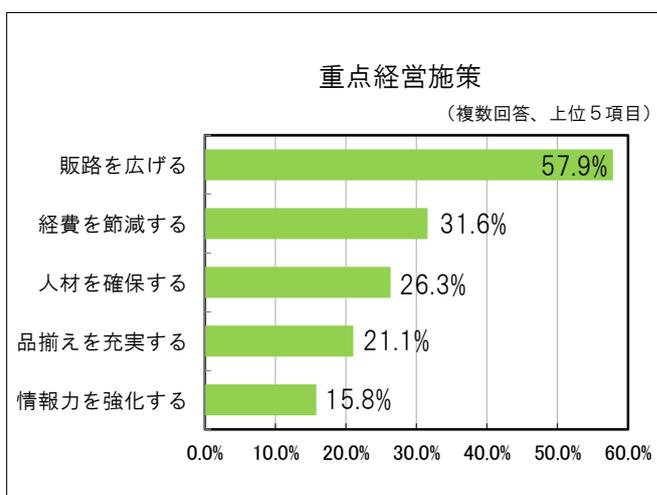
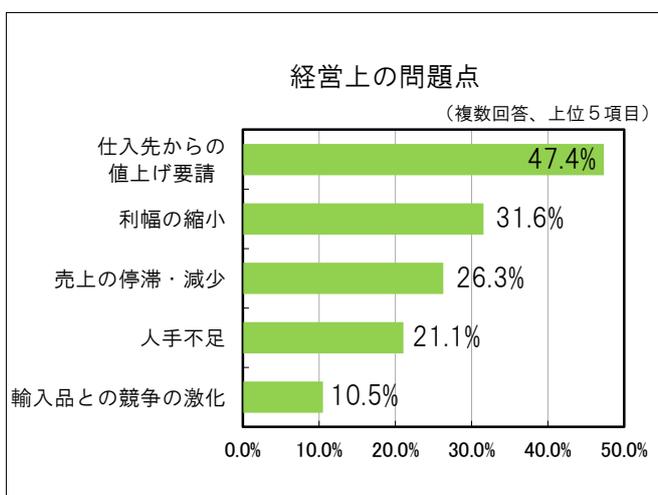
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、販売価格DIは+10.5ポイントの26.3、仕入価格DIは+15.8ポイントの73.7、在庫DIは▲5.3ポイントの0.0、資金繰りDIは+6.2ポイントの▲10.5、設備状況DIは▲21.0ポイントの▲26.3となりました。今後は、在庫DI・資金繰りDIは上昇、販売価格DI・仕入価格DI・設備状況DIは横這いを見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「仕入先からの値上げ要請」が47.4%と最も多く、次いで「利幅の縮小」31.6%、「売上の停滞・減少」26.3%、「人手不足」21.1%、「輸入品との競争の激化」が10.5%となりました。

【重点施策】

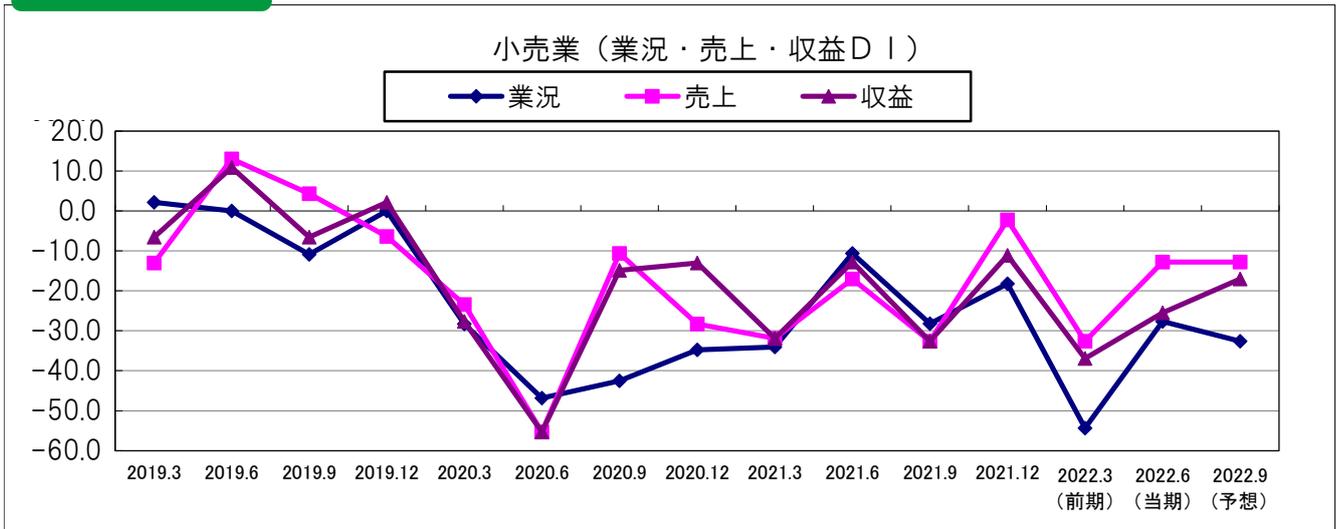
当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」57.9%が最も多く、次いで「経費を節減する」31.6%、「人材を確保する」26.3%、「品揃えを充実する」21.1%、「情報力を強化する」が15.8%となりました。

# 小売業

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：売上・収益D I は改善、業況D I は悪化の見込み

## 主要D I 推移



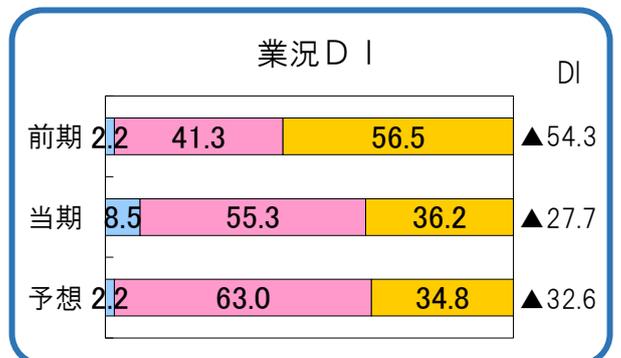
## 主要D I 構成



### ○業況D I



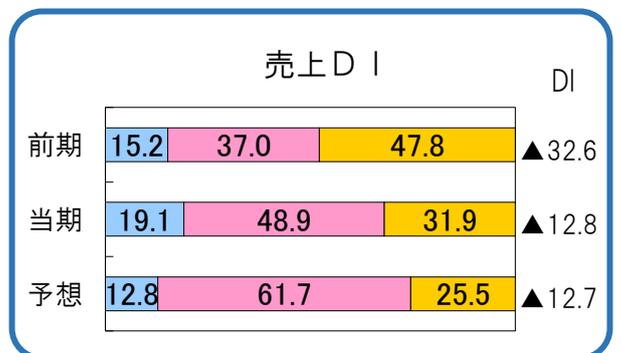
業況DIは、対前期比+26.6ポイントの▲27.7(前年同期▲10.6・前回予想との差+13.6)と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲4.9ポイントの▲32.6と悪化を見込んでいます。



### ○売上D I



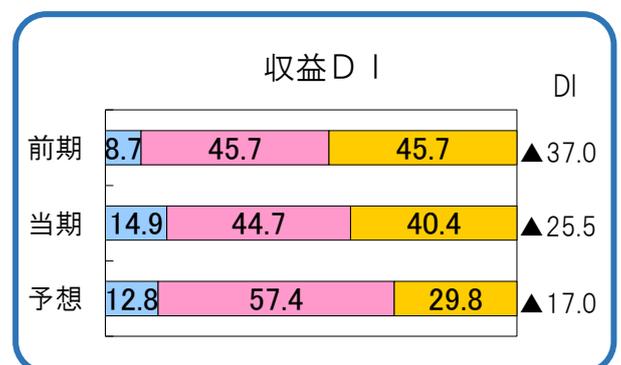
売上DIは、対前期+19.8ポイントの▲12.8(前年同期▲17.0・前回予想との差▲8.5)と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比+0.1ポイントの▲12.7と改善を見込んでいます。



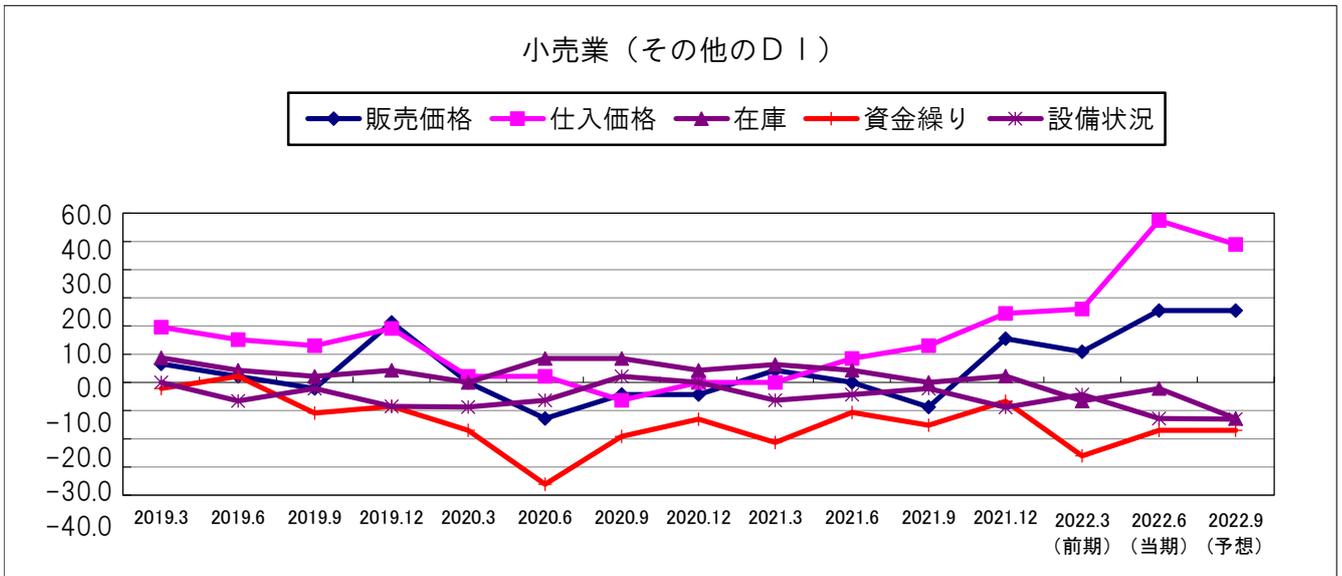
### ○収益D I



収益DIは、対前期比+11.5ポイントの▲25.5(前年同期▲12.8・前回予想との差▲23.3)と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比8.5ポイントの▲17.0と改善を見込んでいます。



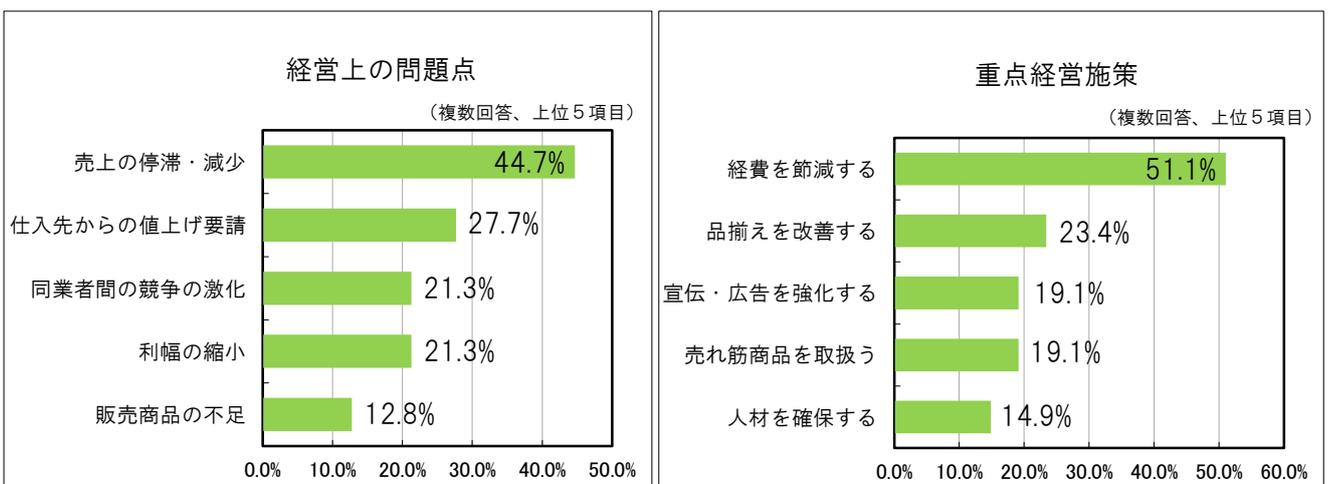
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、販売価格DIは+14.6ポイントの25.5、仕入価格DIは+31.3ポイントの57.4、在庫DIは+4.4ポイントの▲2.1、資金繰りDIは+9.1ポイントの▲17.0、設備状況DIは▲8.5ポイントの▲12.8となりました。今後は、販売価格DI・資金繰りDIは横這い、仕入価格DI・在庫DI・設備状況DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が44.7%と最も多く、次いで「仕入先からの値上げ要請」27.7%、「同業者間の競争の激化」「利幅の縮小」が共に21.3%、「販売商品の不足」が12.8%となりました。

【重点施策】

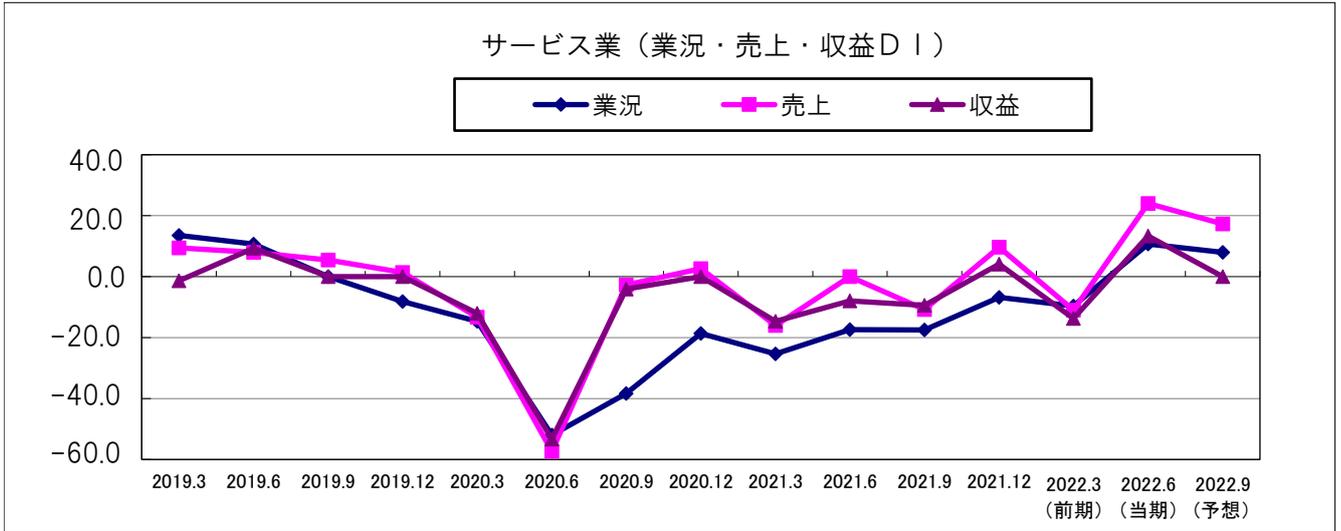
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が51.1%と最も多く、次いで「品揃えを改善する」23.4%、「宣伝・広告を強化する」「売れ筋商品を取扱う」が共に19.1%、「人材を確保する」が14.9%となりました。

# サービス業

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

## 主要D I 推移



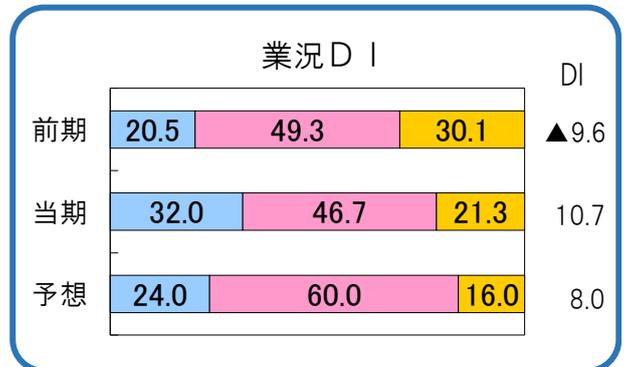
## 主要D I 構成



### ○業況D I



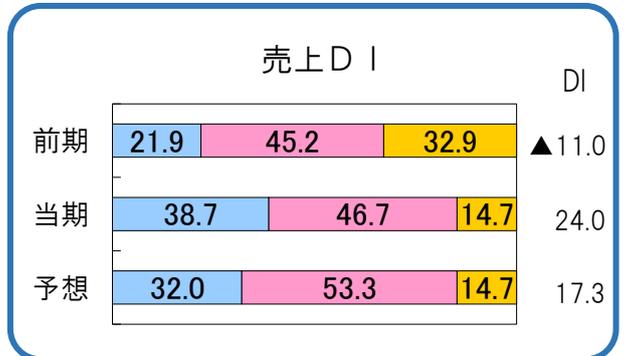
業況DIは、対前期比+20.3ポイントの10.7(前年同期▲17.4・前回予想との差+17.5)と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲2.7ポイントの8.0と悪化を見込んでいます。



### ○売上D I



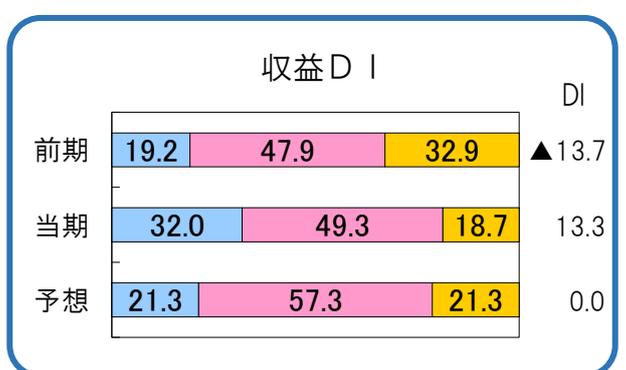
売上DIは、対前期比+35.0ポイントの24.0(前年同期0.0・前回予想との差+14.4)と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲6.7ポイントの17.3と悪化を見込んでいます。



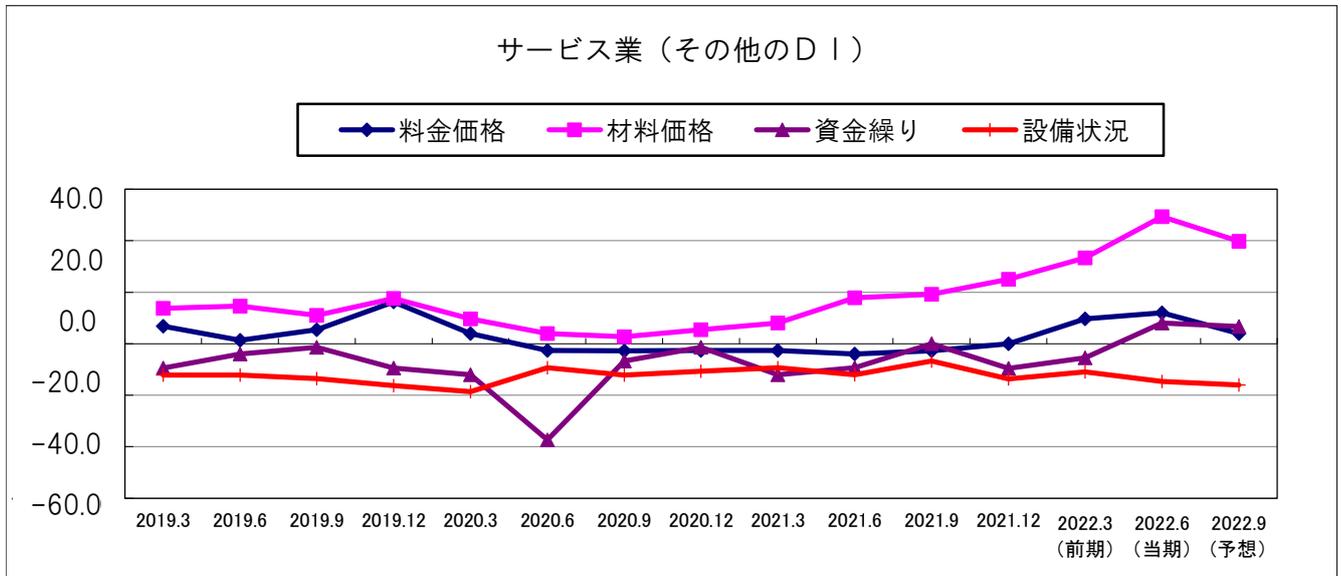
### ○収益D I



収益DIは、対前期比+27.0ポイントの13.3(前年同期▲8.0・前回予想との差+9.2)と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲13.3ポイントの0.0と大幅な悪化を見込んでいます。



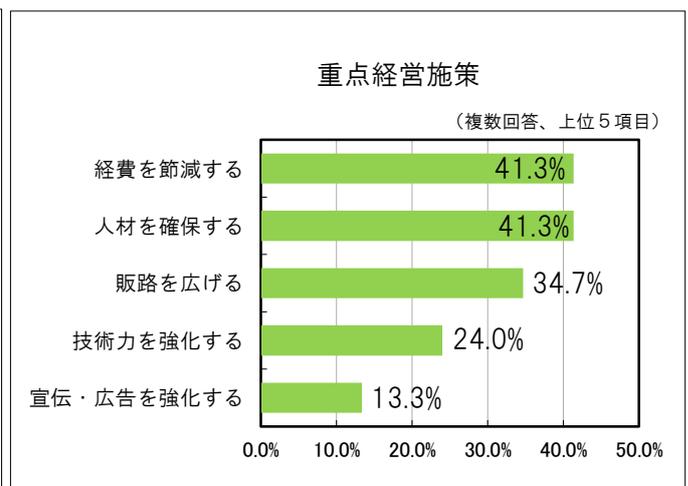
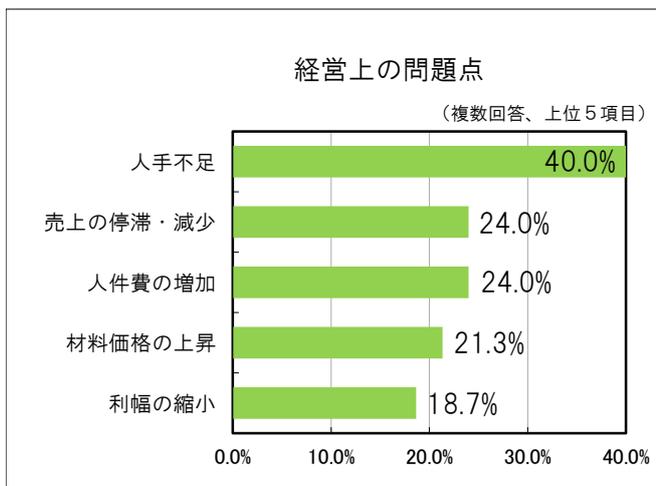
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、料金価格DIは+2.4ポイントの12.0、材料価格DIは+16.0ポイントの49.3、資金繰りDIは+13.5ポイントの8.0、設備状況DIは▲3.7ポイントの▲14.7となりました。今後は料金価格DI・材料価格DI・資金繰りDI・設備状況DI全てで低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「人手不足」が40.0%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」「人件費の増加」が共に24.0%、「材料価格の上昇」21.3%、「利幅の縮小」18.7%となりました。

【重点施策】

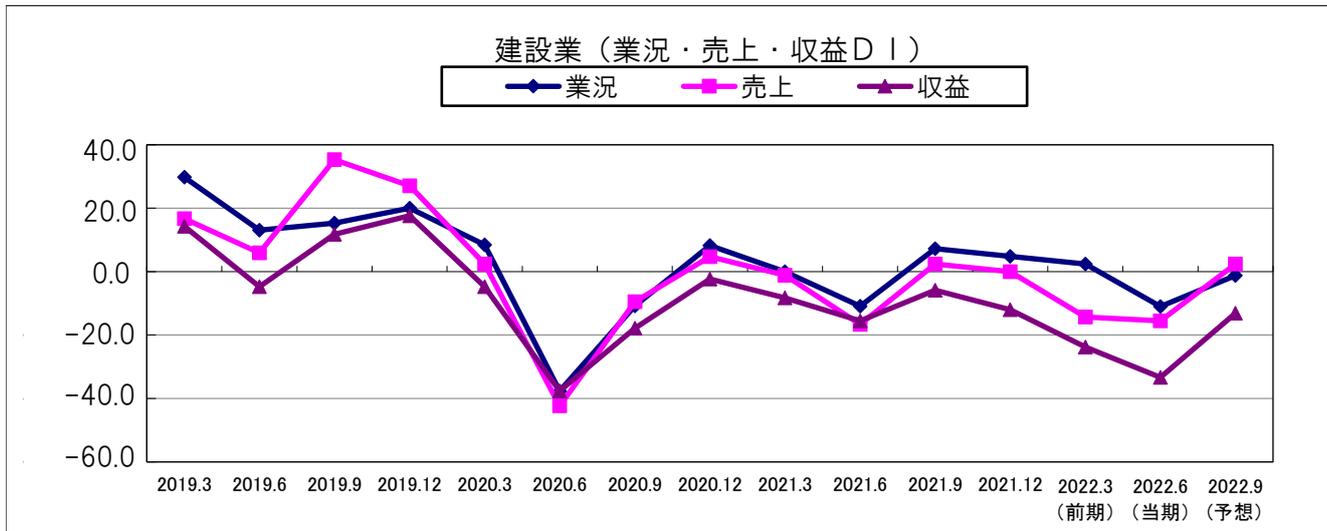
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」「人材を確保する」が共に41.3%と最も多く、次いで「販路を広げる」34.7%、「技術力を強化する」24.0%、「宣伝・広告を強化する」13.3%となりました。

# 建設業

今期：業況・売上・収益D | 共に悪化

来期：業況・売上・収益D | 共に改善の見込み

## 主要D | 推移



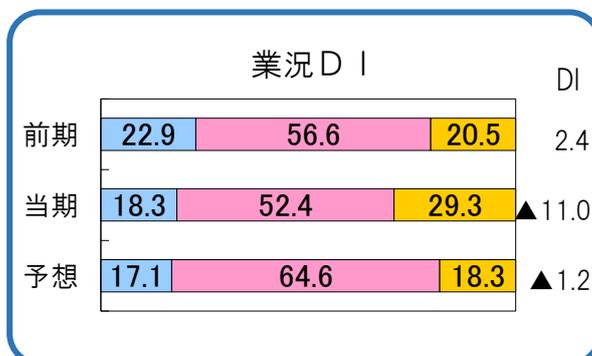
## 主要D | 構成



### ○業況D |



業況DIは、対前期比▲13.4ポイントの▲11.0(前年同期▲10.8・前回予想との差▲1.4)の3期連続の悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+9.8ポイントの▲1.2と改善を見込んでいます。



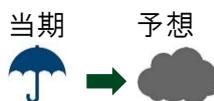
### ○売上D |



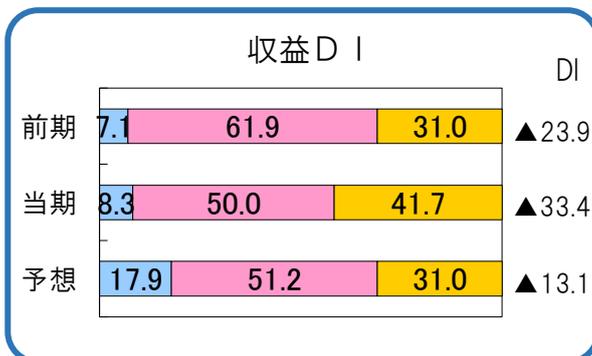
売上DIは、対前期比▲1.2ポイントの▲15.5(前年同期▲16.6・前回予想との差+4.9)と3期連続の悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+17.9ポイントの2.4と大幅な改善を見込んでいます。



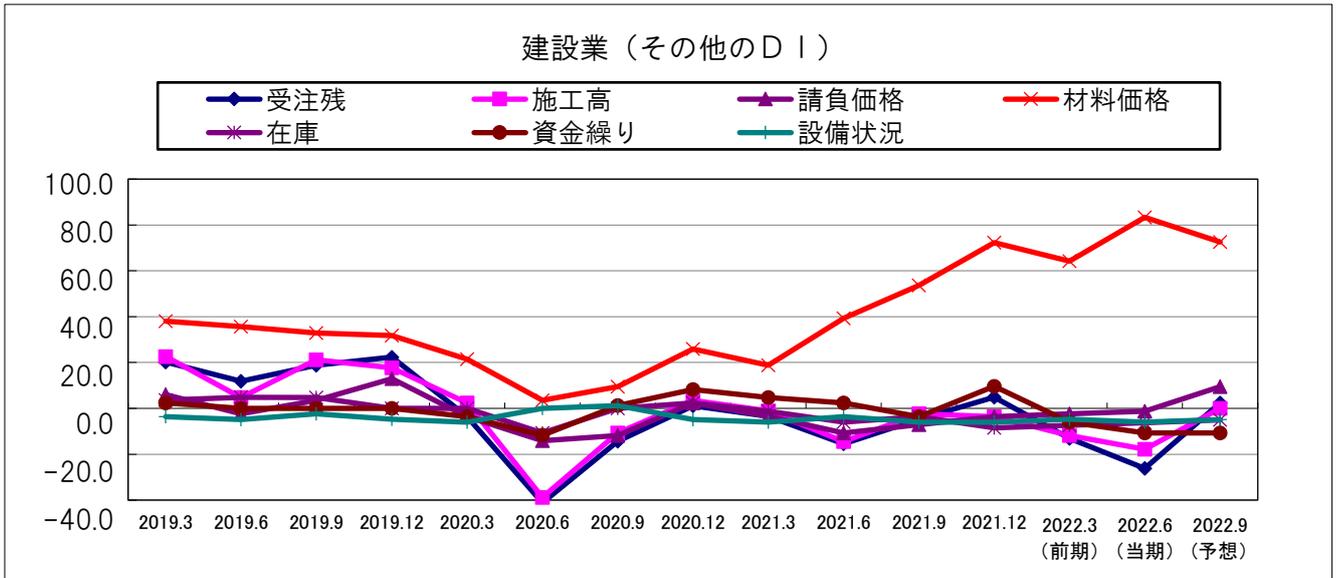
### ○収益D |



収益DIは、対前期比の▲9.5ポイントの▲33.4(前年同期▲15.5・前回予想との差▲6.6)と3期連続の悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+20.3ポイントの▲13.1と大幅な改善を見込んでいます。



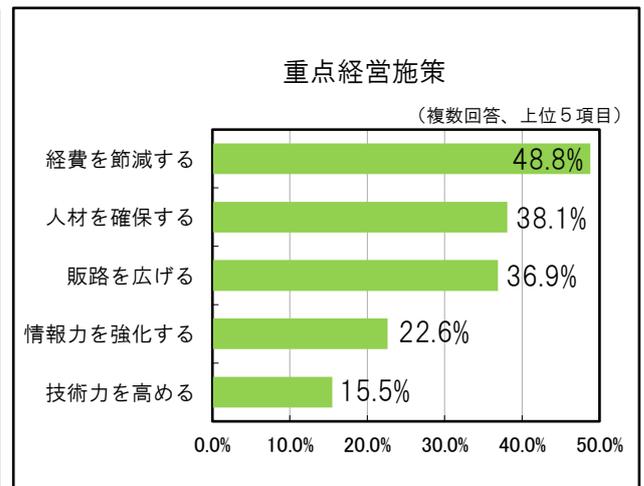
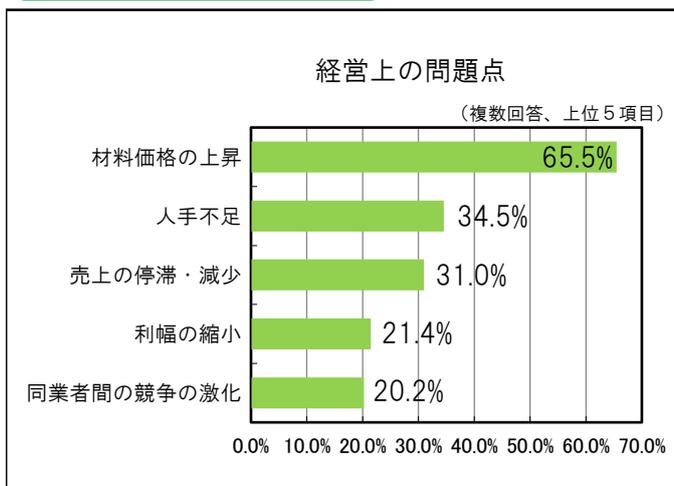
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは▲13.1ポイントの▲26.2、施工高DIは▲6.0ポイントの▲17.9、請負価格DIは+1.2ポイントの▲1.2、材料価格DIは+19.0ポイントの83.3、在庫DIは+1.0ポイントの▲6.3、資金繰りDIは▲4.7ポイントの▲10.7、設備状況DIは▲1.2ポイントの▲6.0となりました。今後は、受注残DI・施工高DI・請負価格DI・在庫DI・設備状況DIは上昇、資金繰りDIは横這い、材料価格DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「材料価格の上昇」が65.5と最も多く、次いで「人手不足」34.5%、「売上の停滞・減少」31.0%、「利幅の縮小」21.4%、「同業者間の競争の激化」20.2%となりました。

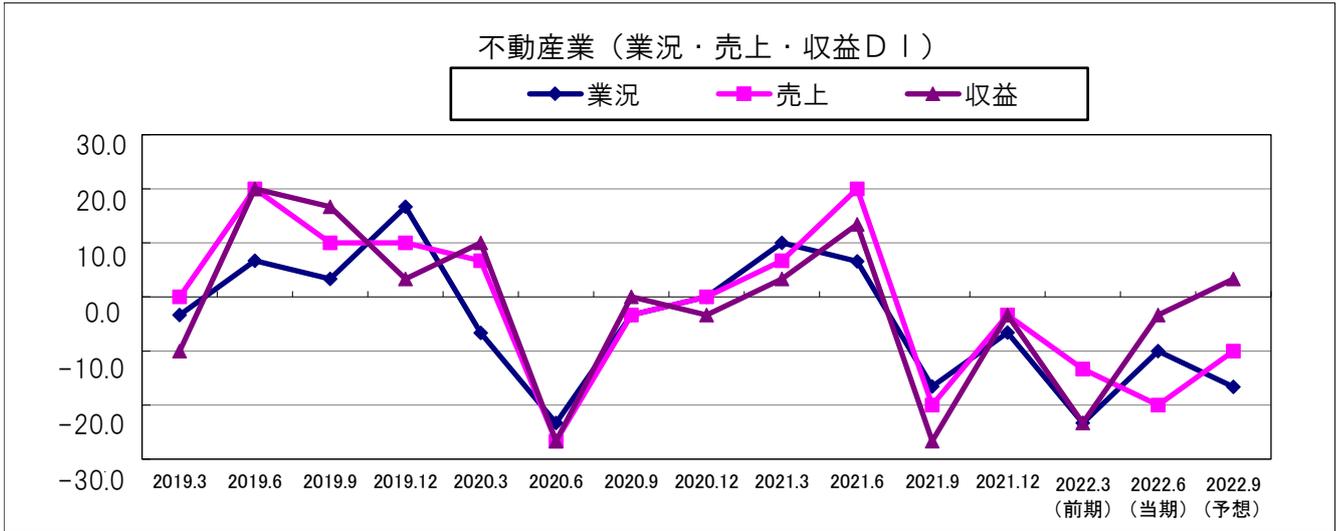
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が48.8と最も多く、次いで「人材を確保する」38.1%、「販路を広げる」36.9%、「情報力を強化する」22.6%、「技術力を高める」15.5%となりました。

# 不動産業

今期：業況・収益DIは改善、売上DIは悪化  
 来期：売上・収益DIは改善、業況DIは悪化の見込み

## 主要DI推移



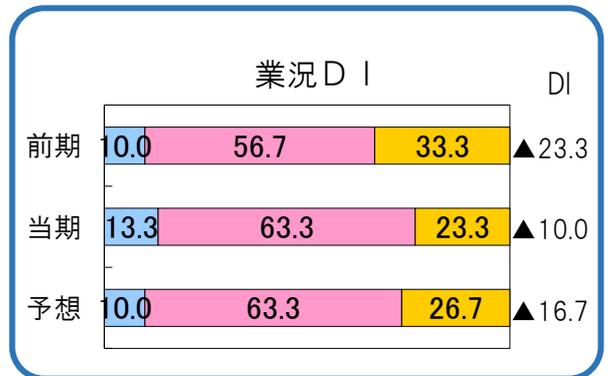
## 主要DI構成



### ○業況DI



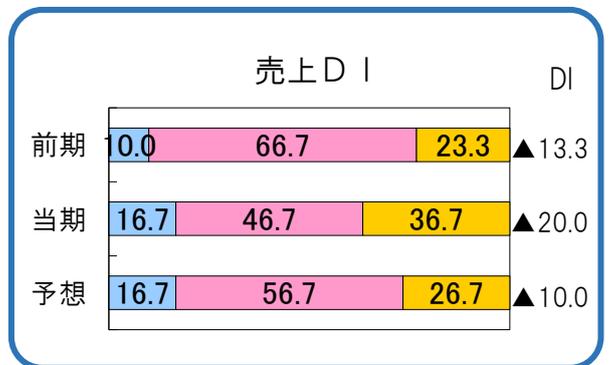
業況DIは、対前期比+13.3ポイントの▲10.0（前年同期6.6・前回予想との差+6.7）と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲6.7ポイントの▲16.7と悪化を見込んでいます。



### ○売上DI



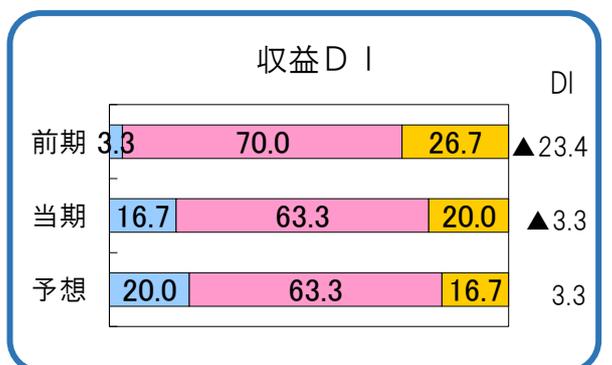
売上DIは、対前期比▲6.7ポイントの▲20.0（前年同期20.0・前回予想との差▲20.0）と2期連続の悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+10.0ポイントの▲10.0と大幅な改善を見込んでいます。



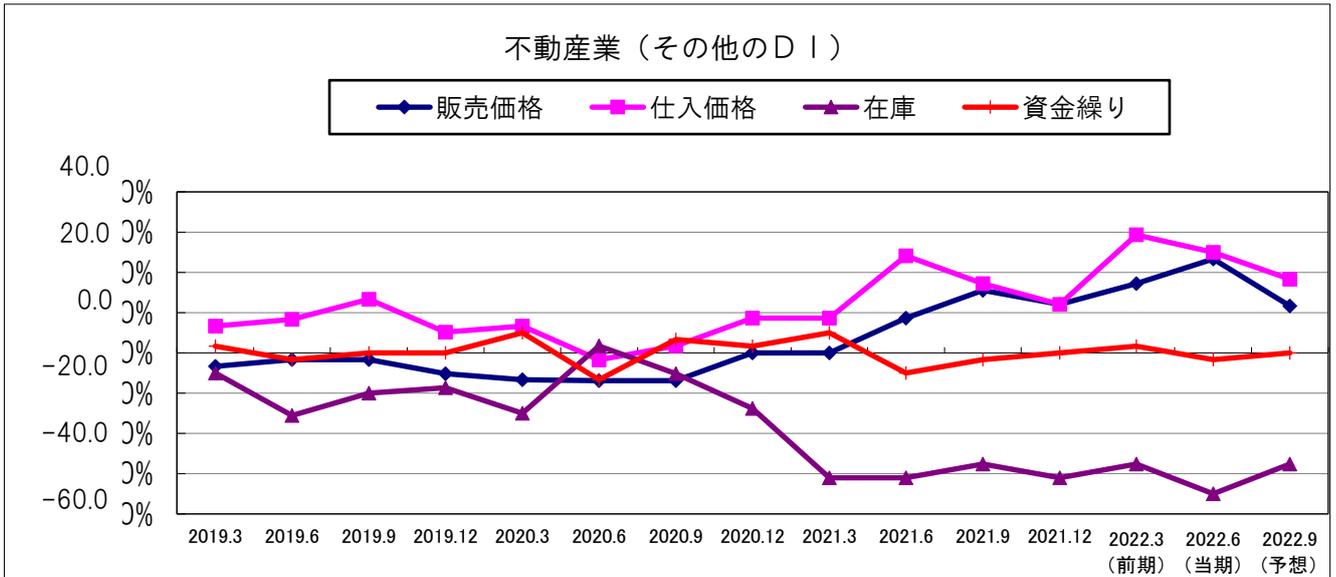
### ○収益DI



収益DIは、対前期比+20.1ポイントの▲3.3（前年同期13.4・前回予想との差±0.0）と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比+6.6ポイントの3.3と改善を見込んでいます。

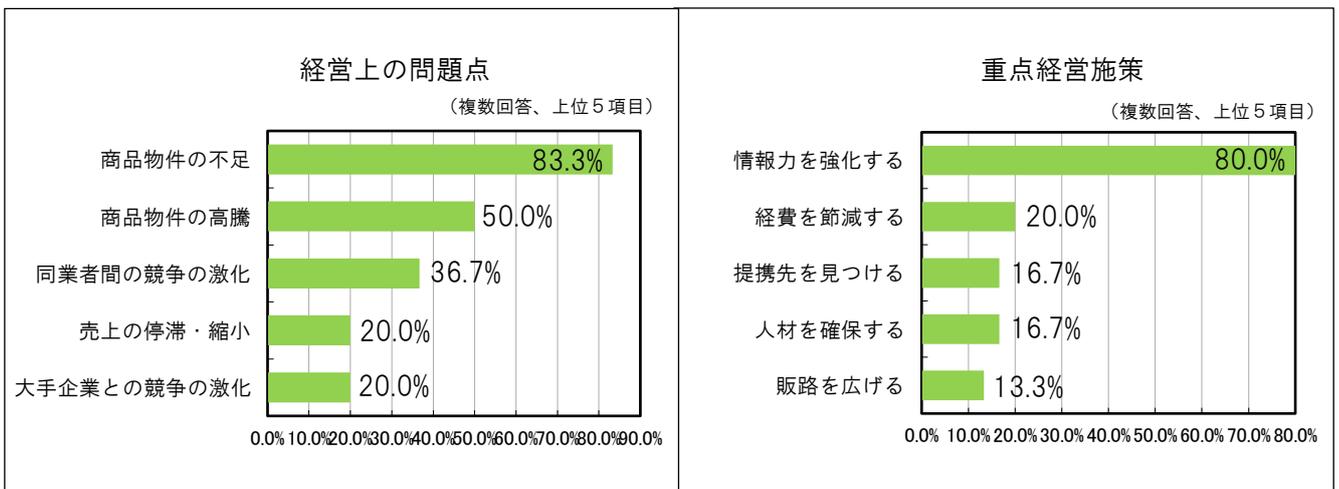


その他のDI推移



対前期比で見ると、販売価格DIは+12.2ポイントの46.7、仕入価格DIは▲8.6ポイントの50.0、在庫DIは▲14.8ポイントの▲70.0、資金繰りDIは▲6.6ポイントの▲3.3となりました。今後は、在庫DI・資金繰りDIは上昇、販売価格DI・仕入価格DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「商品物件の不足」が83.3%と最も多く、次いで「商品物件の高騰」50.0%、「同業者間の競争の激化」36.7%、「売上の停滞・縮小」「大手企業との競争の激化」が共に20.0%となりました。

【重点施策】

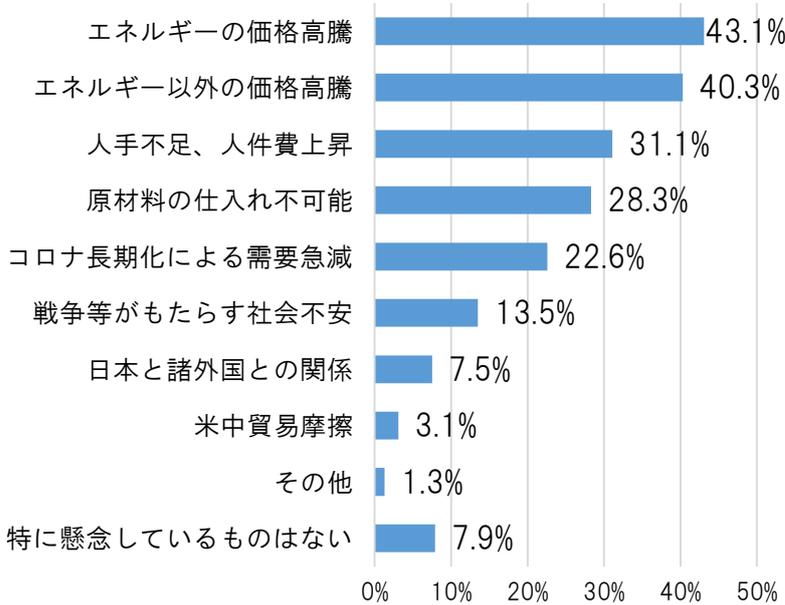
当面の重点経営施策として挙げられたのは「情報力を強化する」が80.0%と最も多く、次いで「経費を節減する」20.0%、「提携先を見つける」16.7%、「人材を確保する」16.7%、「販路を広げる」13.3%となりました。

# 特別調査

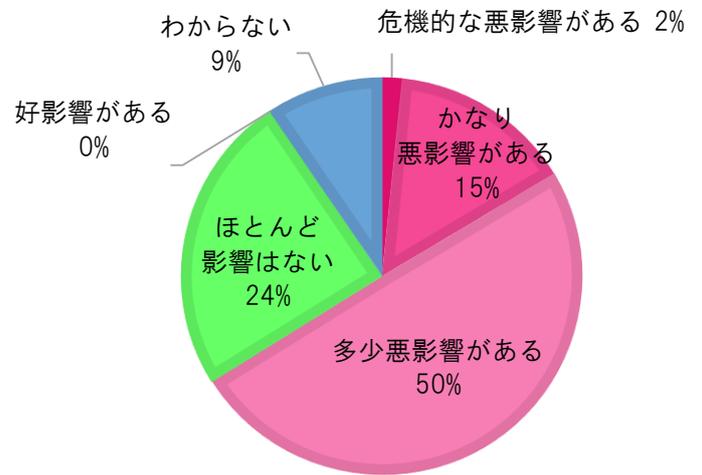
## 混迷する経済社会情勢と中小企業経営 —コロナ、原材料価格高騰、海外情勢の緊迫化を受けて—

単位：(%)

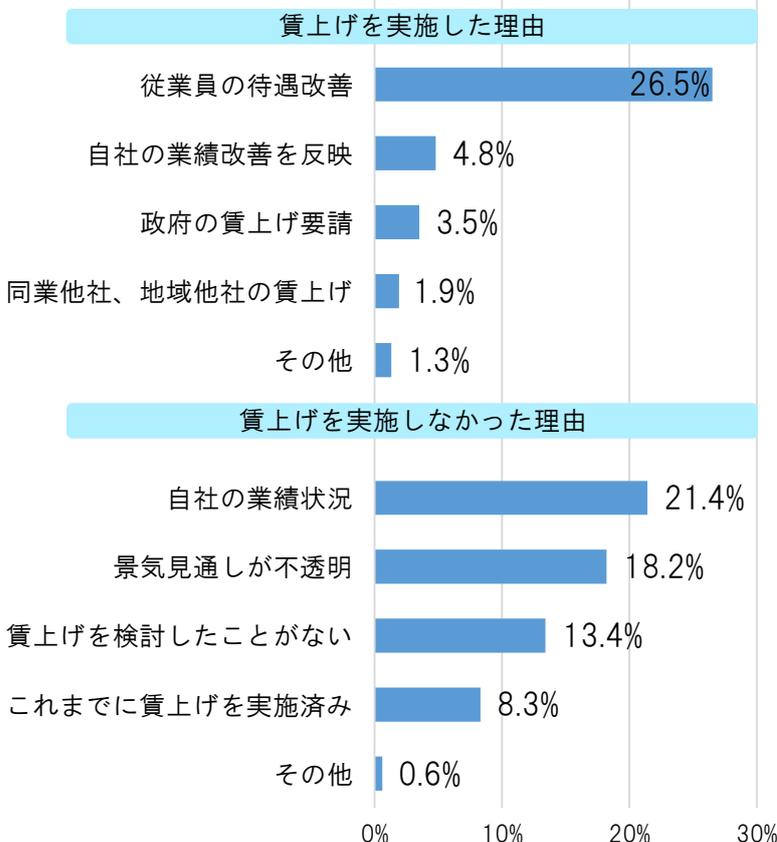
**1** 最近の経済社会情勢について、特に懸念しているものはありますか。(複数回答)



**2** エネルギー価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。



**3** 政府からの賃上げが要請されていますが、今春、賃上げを実施しましたか。その理由についてもお答えください。



**4** コロナ禍を受けて、事業承継(M&Aを含む。)についての考え方に変化はありましたか。

